



Tokyo Tech

高度人材育成博士フェローシップ

&

殻を破るぞ！

越境型理工系博士人材育成プロジェクト

【合同説明会】

1. ご挨拶
2. 高度人材育成博士フェローシップ
3. 越境型理工系博士人材育成プロジェクト
4. 申請方法
5. 質疑応答



Tokyo Tech

1. ご挨拶

2. フェローシップ

3. 越境型

4. 申請方法

5. 質疑応答

ご挨拶

神田 学 / Manabu Kanda

副学長（教育運営担当）

殻を破るぞ！越境型理工系博士人材育成プロジェクト 事業統括

博士後期課程学生への支援

東工大 独自支援

つばめ博士学生奨学金

リサーチフェロー制度（科学技術創成研究院、生命理工学院）

東工大基金奨学金



2021年度～

文部科学省

高度人材育成博士フェローシップ

科学技術
振興機構

殻を破るぞ！
越境型理工系博士人材育成プロジェクト

背景

博士後期課程における
経済的不安と将来のキャリアパスが不透明であるため、
博士後期課程への進学率が低下傾向

目的

日本の科学技術・イノベーション創出に資する意思を持つ
優秀な志ある学生が、**経済的負担やキャリア不安を持たず**、
躊躇なく博士に進学し、自身を最大限に生かす
幅広いキャリアを選択できるようにすること



Tokyo Tech

1. ご挨拶

2. フェローシップ

3. 越境型

4. 申請方法

5. 質疑応答

高度人材育成博士フェローシップ

田中 昇 / Noboru Tanaka

学務部

主にお伝えしたいこと

- 経済支援の内容
- 学修プログラムの内容

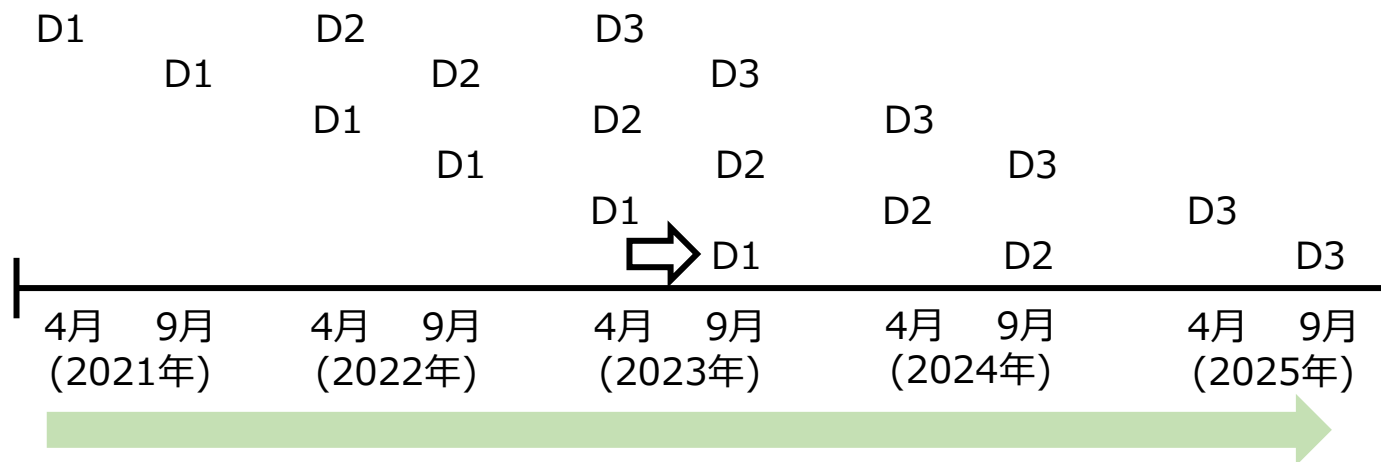
文科省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」

東工大「高度CPS²人材育成フェローシップ」

“CPS²(Cyber Physical & Social Systems)の概念に基づいて、次世代コンピューティングによるスマート社会の実現のための科学技術イノベーション創出を担う博士人材を育成”

高度人材育成博士フェローシップ

2021年2月	大学フェローシップ創設事業に本学採択（支援人数40名/年）
2021年4, 10月	春期(30名), 秋期(10名)フェローシップ学生採択
2022年3月	学振特別研究員採択により6名が辞退し、繰上りで新たに6名採択
2022年4, 10月	春期(28名), 秋期(12名)フェローシップ学生採択
2023年1月	2024年度からフェロー、越境型両制度を一本化した新SPRING事業（仮称）を公募する方向で調整中である旨を文科省が発表
2023年3月	学振特別研究員採択等により14名が辞退し、繰上りで新たに14名採択
2023年4月	春期フェローシップ学生募集 - 採択者28名決定
2023年5月	秋期フェローシップ学生募集中 - 採択枠12名



- スケジュール

申請（～5月31日（水）正午）



審査（書類審査、フェロローシップ委員会で最終選考）



内定者発表（7月12日（水））*

- 採択枠

2023年秋採用：12名

* 正式採択は博士後期課程への入・進学決定後となります。

支援の内容

(支援期間：最長2年6か月間)

- 研究専念支援金

- 生活費相当
- 月額15万円 (年額180万円)
- 毎月21日振込 (銀行休業日の場合は前日以前で休業日でない直近の日)

- 研究費

- 2023年度15万円 (年額30万円)
- 研究室に配分。予算詳細責任者は指導教員
- 使用例：H/W, S/W, 書籍, 機器利用料, 学会出張, 実験材料, など

- 授業料全額免除

- 年額635,400円

フェローシップの実施項目（義務）

- 研究計画を踏まえて研究活動に専念
- 学修プログラムの各項目を計画的に実施
- 業績報告書、面談報告書を年2回提出（8月末、2月末）
- 学振特別研究員募集に応募

学修プログラム（1） - 研究力向上 -

- コンソーシアムを通じた研究力向上
 - 所属する学院が指定する研究会やセミナー等に在学中1回以上参加
- 教育プログラム **科目リスト**
 - 「データサイエンス・AI特別専門学修プログラム」の修了要件に沿って科目を履修
- メンターによる共同指導
 - アカデミックアドバイザー(AA)* 制度の中で、主および副AA教員との面談を年に2回以上実施
 - 基礎研究機構の若手助教との懇談会に在学中1回以上参加
- 英語プレゼンテーション教育 **科目リスト**
 - 所属する学院が指定するアカデミックプレゼンテーション関係の教育プログラムに在学中1回以上参加

“所属する学院が指定する” => [フェロースhipガイド](#)や[科目リスト](#)を参照

学修プログラム（２） - キャリアパス支援、その他 -

- コンソーシアムを通じたキャリアパス形成（在学中にどちらか1回以上）
 - 蔵前工業会（本学同窓会）における「Dr's K-meet」に参加
 - 所属する学院が主催するキャリアフォーラム等に参加
- 研究インターンシップ（在学中にどちらか1回以上）
 - 所属する学院が指定するインターンシップ関係の教育プログラムに参加 **科目リスト**
 - 大学と企業とのマッチングプログラムを通じてインターンシップを経験（C-ENGINE (<https://www.c-engine.org/>) やジョブ型研究インターンシップ (<https://www.titech.ac.jp/student/students/life/job-i>))
- キャリア教育（在学中にどちらか1回以上）
 - 体系的なキャリア教育科目を履修 **科目リスト**
 - 実践AIデータサイエンスA~Cを履修 **科目リスト**
- 博士課程の魅力発信
 - 系・コース・研究室などで開催するセミナー等で修士課程以下の学生に対し博士課程における研究活動の魅力を年に1回以上発信

フェローシップ制度や学修プログラムの設計・運用、フェローシップ採
択学生の選考を行う

委員長	情報理工学院	教授	三宅美博
	理学院	教授	河野正規
	工学院	教授	藤田英明
	物質理工学院	教授	藤居俊之
	生命理工学院	教授	伊藤武彦
	環境・社会理工学院	教授	木内 豪
外部委員	葺前工業会	理事	藤田玲子

事務からのサポート

- 問い合わせ先（いつでもご連絡ください）
 - 高度人材育成博士フェローシップ事務（織田、川井）
 - cps2.f.app@jim.titech.ac.jp
 - 内線 7649

- 不定期にご案内メールをお送りします

例)

(フェローシップ事務局からのご案内/message from fellowship office)卓越教育院とDr's K-meetの情報

(English message follows.)

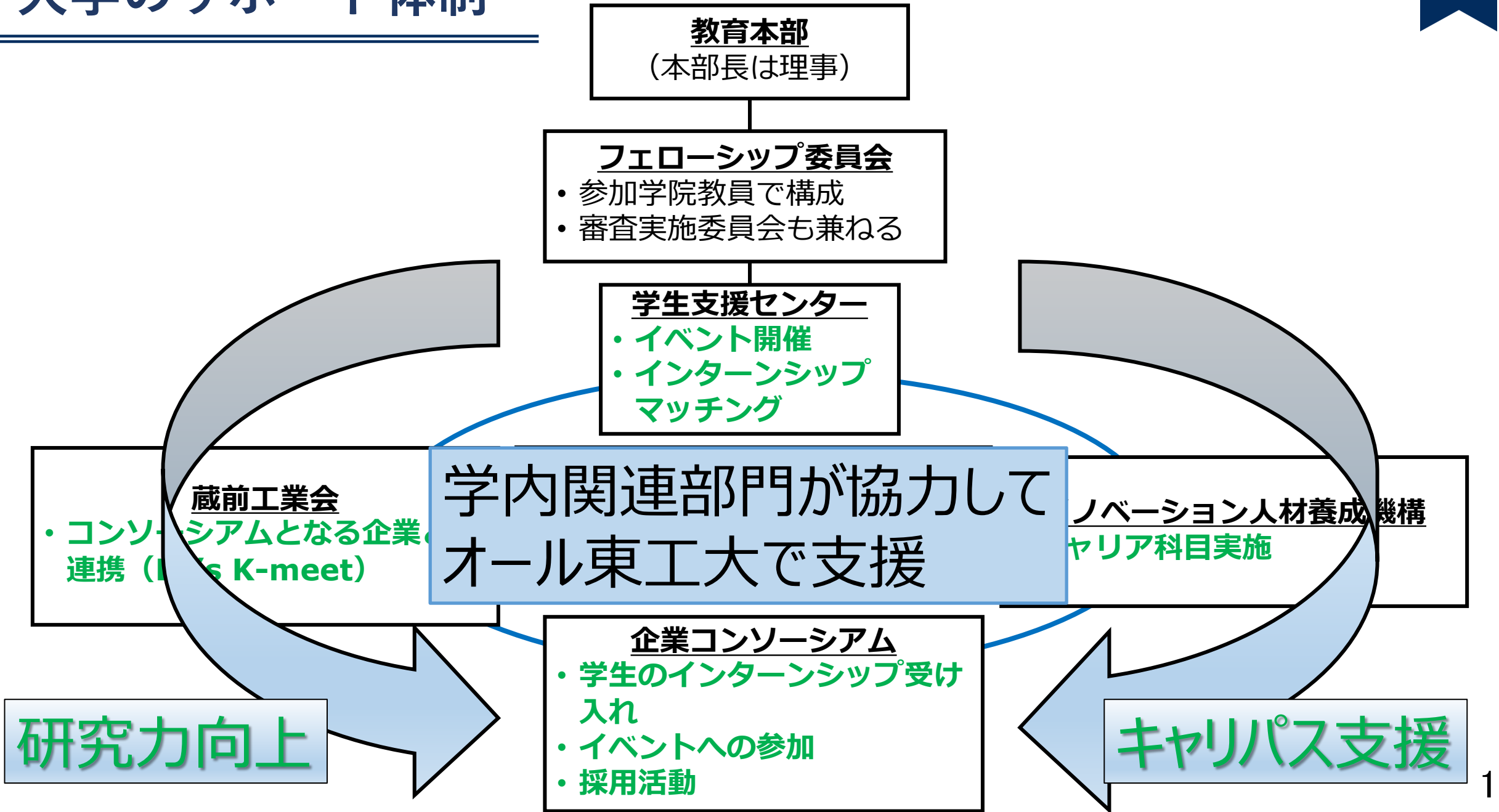
(bcc：でお送りしております)

フェローシップ学生の皆様、お世話になっております。フェローシップ事務織田です。

フェローシップの学修プログラムでは、「コンソーシアムを通じた研究力向上」のため幾つかの学院において卓越教育院のイベントへの参加を求めています。以下に現時点でわかっている卓越教育院のイベント情報をお知らせします。また、蔵前工業会主催のDr's K-meetについてもお知らせします。

...

大学のサポート体制





Tokyo Tech

1. ご挨拶

2. フェローシップ

3. 越境型

4. 申請方法

5. 質疑応答

殻を破るぞ！

越境型理工系博士人材育成プロジェクト

岩澤 伸治 / Nobuharu Iwasawa

事業統括補佐 教育本部 特任教授

越境型理工系博士人材

高度専門力(specialized skill)をベースに

異分野の知性と協働できる

汎用力(transferable skill)を兼備した人材

“越境型”に込めた意味

自分の殻を破る

専門を武器に
研究室を飛び出し自己研鑽

専門の壁を破る

異分野と協働し
汎用力を向上

社会変革に貢献し、自身のキャリア選択を広げる



学外研鑽 3か月以上

海外派遣

国内企業・学術機関での研究

インターンシップ



Tokyo Tech

1. ご挨拶

2. フェローシップ

3. 越境型

4. 申請方法

5. 質疑応答

殻を破るぞ！

越境型理工系博士人材育成プロジェクト

上里 真理子 / Mariko Agari

学務部 教育プログラム推進室

費目	概要	支給対象	支給額
a. 研究奨励費	生活費相当額として、口座に毎月振込。用途不問。	全員	月額15万円 (年額180万円)
b. 研究費	研究に必要な経費であれば、費目不問。	全員	年額40万円
c. 次世代研究者 挑戦的研究プラス (次世代プラス)	特に挑戦的・融合的な研究に対する研究費追加支援。	申請書のうち 合格者のみ	年額最大 70万円
d. 学外研鑽プラス	学外研鑽に対する 旅費追加支援。	申請書のうち 合格者のみ	学生により 異なる

※a～dはすべて併給可能です。

※b. 研究費について、秋入進学者は初年度と最終年度の支援期間が半年のため、当該年度は20万円の支給となります。

※b～cは、本学規程に従って執行管理し、使用期限は各年度限りです。繰り越しはできず、未使用分は返還対象となります。

支給イメージ



学外研鑽プラス ※1, 2		70万円 アメリカ3か月	40万円 シンガポール1か月	
次世代プラス ※1, 2	年額70万円			年額50万円
研究費 ※1	年額40万円	年額40万円	年額40万円	年額40万円
研究奨励費	月額15万円 × 12か月 × 3年間			
	入進学	2年次	3年次	修了



学外研鑽プラス ※1, 2		120万円 オランダ8か月		
次世代プラス ※1, 2	年額70万円	年額20万円	年額70万円	年額70万円
研究費 ※1	年額40万円	年額40万円	年額40万円	年額40万円
研究奨励費	月額15万円 × 12か月 × 3年間			
	入進学	2年次	3年次	修了

※1 本学規程に従って執行管理し、使用期限は各年度限りです。繰り越しはできず、未使用分は返還対象となります。

※2 学外研鑽プラス、次世代プラスの支給額はあくまで一例です。実際は審査により決定いたします。

採択者の義務

2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
海外派遣などの学外研鑽（3か月以上）			
授業科目の履修（2教科以上）			
イベント参加 （1つ以上）	イベント参加 （2つ以上）	イベント参加 （2つ以上）	イベント参加 （1つ以上）
ワークショップ参加			
研究倫理教育	学振特別研究員の応募		
報告書の提出			
確定申告の実施			
論文謝辞の記載			
調査協力			

	審査対象	審査内容	審査期間
1次選考 (書類審査)	申請者全員	申請書 成績証明書	6月
2次選考 (面接審査)	1次選考で 合格・不合格が 決まらない方 (対象者のみ連絡)	発表 質疑応答 (Zoom)	以下のいずれか10分程度 7月4日 (火) 18-20時 7月5日 (水) 18-20時 ※原則、指定時間の変更は認めません

※ 一次選考結果を事前に公表することはありません。すべての選考が終了した後に、合格者のみ掲載します。



Tokyo Tech

1. ご挨拶

2. フェローシップ

3. 越境型

4. 申請方法

5. 質疑応答

申請方法（共通）

上里 真理子 / Mariko Agari

学務部 教育プログラム推進室

採用フロー

□ 共通箇所

フェロー

越境型

**申請手続き
(共通)**

- ① WEB申請
 - ・申請先
 - ・設問内容
- ② 書類提出
 - ・申請書
 - ・修士成績証明書
 - ・提出先

※ 募集要項は異なります

申請締切
5/31 (木) 正午

内定者発表
7/12 (水) 正午

採択者発表
10/3 (火) 予定



2023年度秋採用に関する問合せ

● フェローシップ・越境型共通の問い合わせフォーム



2023年度秋採用フェローシップ・越境型 問合せフォーム / Inquiry Form about the Application

高度人材育成博士フェローシップ・越境型理工系博士人材育成プロジェクト【2023年度秋採用】に関するお問い合わせフォームです。2023年度秋採用への応募を検討されている方、選考途中の方はこちらのフォームをご利用ください。（各制度ウェブサイトにあるお問い合わせフォームは利用できません）

- ✓ 申請完了まで使用可能
- ✓ 問合せ先がどちらかの場合も使用可
- ✓ 応募ページにリンクあり





Tokyo Tech

1. ご挨拶

2. フェローシップ

3. 越境型

4. 申請方法

5. 質疑応答

質疑応答